

## 平成24年度取り組み目標と方策

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
<b>教育活動 (教務)</b>	①魅力ある学校への改革と生徒の学力向上  ②新カリキュラムの再検討	①学校改革を目指す委員会との連携により、学力向上を目指した実力模試の、平成24年度はその第1回の結果が現れる年となる。成果が上がるような指導を実施するとともに、結果・分析情報を全ての教員が共有し、その後の指導に活かせる環境を整えたい。 ②新たに発表された日本大学付属推薦制度や大学入試制度に沿うよう、新カリキュラムの再検討を行う。	①秋季学力模試に対する指導は、標準学力テストの結果発表後1学期半ばから開始。2学期はその分析を徹底し、3学期は春季模試への指導を進める。
<b>教科指導 (教務)</b>	①1ランクアップのための行動の促進継続  ②新カリキュラムに沿う学習計画の更新、校内学力模試との連動による日大付属高校一斉試験での成績向上  ③公開授業・研究授業の充実	①学校改革を目指した、生徒も教員も全ての土浦日大がステップアップできる、一歩を踏み出すことができるような意識改革と行動促進を継続する。教員はそのための学習指導計画、学力模試対策指導計画の充実をさらに進める。 ②数学と理科に続き、他教科も平成25年度入学生から適用となる新学習指導要領に対応した学習計画の見直しと更新を進める。秋季・春季学力模試との連動、日本大学付属推薦に係わる新基礎学力到達度テストの実施にも対応させる。 ③5・6月、9・10月の公開授業月間を利用し、教員の指導力向上を目指した取り組みをさらに進める。2学期は、保護者にも公開するとともに、外部評価委員による授業参観も実施する。	①新入生に対する学習指導を入学前からスタートさせる。2・3年生は標準学力・模試成績をもとに次へのステップアップを意識させる指導を進める。 ②平成25年度からの実施に向け、年間を通じ計画的に作業を進める。 ③1学期の公開から積極的な参加を促す。特に新任教員に対しての指導を、教科主任、管理職で実施する。

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
<b>学校生活への配慮</b> <b>(生徒指導)</b>	①端正な高校生への意識改革 ②落ち着いたある学校生活の構築 ③入学前指導の実施 ④教育講座の実施 ⑤制服着用指導の徹底、クールビズの実施	①基本的な生活習慣の定着に向けた指導を推進する。 ②マナーの向上，事故防止に努め，落ち着いた，充実した高校生活を送らせる。 ③新入生登校日に新入生と保護者に対し本校の生活指導についての理解を求める。 ④禁煙，交通安全，健康，薬物乱用防止の各教育講座を講師を招いて実施する。 ⑤本校の生徒指導の原点に立ち返った指導法を再構築する。省電力の社会的要請に応える軽装化を実施する。	①②4月当初から年間を通して指導する。 ③3月末と入学当初に指導する。 ④4月と7月に実施する。 ⑤年度当初より開始し，6月～9月中心に実施する。
<b>生徒会・部活動</b>	①生徒会・委員会活動の充実 ②部活動の活性化	①関係委員会，生徒会だけでなく一般生徒も積極的に参加・協力する体制を築いていく。 ②運動部30%，文化部20%の加入を目指す。	①前年度末より始め，各委員会を積極的活動を促す。 ②新入生に入学後から働きかける。
<b>進路指導</b>	①各コース目的に応じた指導内容の精選と充実 ②進路講演会の充実	①総合進学，グローバル・スタディコースは，日本大学との高大連携教育などにより，進学者数の高レベル安定維持を推し進める。特別進学コースは，生徒の志望動向の詳細な把握に努めるなど，出願までの進路指導を強化する。 ②生徒向けや保護者向け進路講演会を，大学の現状と生徒個々の志望に即したものにしよう強化する。	①進路指導に関する行事予定に従い実施する。 ②学年の計画や保護者の要望に連動させながら実施
<b>保健衛生</b>	①生徒と教職員の健康の保持増進 ②関係部署との連携強化	①生徒と教職員の健康の保持増進を図るため，教育環境の安全，安心を確保する。 自ら健康の保持増進を図ることの能力(生きる力)を育成し，感染症対策の確立と徹底に努める。 ②教育相談係り，カウンセラー，養護教諭との情報交換を密にする。 教職員間の共通理解を進め，連携を密にする。	①年間の保健関連行事に関連付けて実施する。 ②年度当初より速やかに取り組む。

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
図書	①新書・各種資料類の充実 ②配架の見直し	①新書・各種資料教材等をテーマや内容から吟味してバランスよく購入する。 ②書架を新規に購入し、新書を中心に授業や課外活動に活用しやすいように配架を見直す。	①②新書架が設置され次第、新書を購入する。新規購入は、時期や出版状況を確認し、順次取り組む。
広報	①広報活動の強化  ②前年の受験生や先生方の意見の反映 ③情報発信の徹底	①学校案内、ポスター、チラシの見直しでより効果的なものとする。生徒数減少の中、学習塾への訪問回数をより増やしていく。さらに夏の見学会、部活動体験、秋の学校説明会をより効果的なものとする。 ②アンケートから集計されたデータや意見を分析反映し、中学校・学習塾訪問に有効活用する。 ③ホームページのより充実と中学校や塾へのタイムリーな情報発信を行う。	①年度当初より取り組む。  ②早期に準備にかかる。 ③更新を積極的に進める。
管理運営	①教育方針と指導目標の明確化  ②校務分掌機能の円滑化	①生徒一人ひとりの志を尊重し、心身ともに健康で気品のある生徒を育成するために、理事長・学校長の下に全教職員が一体となって学校教育に全力で取り組む。 学校自己点検評価制度を効果的に運用していく。 ②校務分掌、各委員会のより適切な配置を検討する。	①あらゆる教育機会をとらえて人間教育に邁進する。  ②機会を捉えては検証を継続する。
庶務	①式典や行事その他庶務事項の更なる改善 ②防災、安全、危機管理などの強化 ③同窓会活動の活性化	①入学式、卒業式、父母と教師の会等の総会、奨学金、環境美化、スクールバスなどの実施運営方法を従来以上に改善する。 ②大震災を教訓に防災マニュアルを改訂し、より現実的な対応が採れるものにする。 広範囲に及ぶ生徒の通学経路を調査し、正確な情報把握により緊急時に備える。 ③ホームカミングデーなどの取り組みを通じて同窓会との連携を進め、学校と同窓会とのより良い関係を構築する。	①年間計画通りに実施して行く。 ②年度当初より速やかに取り組む。 ③年度当初より速やかに取り組む。

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
総合進学コース	<p>①学習習慣の確立と学力向上</p> <p>②進路目標の確立と達成</p> <p>③生徒指導の徹底</p> <p>④特別活動の活性化</p> <p>⑤教員間の連携強化</p>	<p>①学習習慣を確立させるために、自主学習指導、家庭学習時間調査を実施する。</p> <p>校内の秋季学力模試、春季学力模試を活用して基礎学力の定着を図る。</p> <p>1・2学年は夏休み期間中の勉強会やサマースクールに積極的に参加させ個々の学力向上に努めさせる。</p> <p>3学年は夏休み授業や統一対策特別課外授業を実施する。また、進路決定者に対する学習指導を実施する。</p> <p>②進路説明会、卒業生講演会、日大出張講義、日大学部説明会など進路指導部と連携し、効果的な進路指導を実施する。</p> <p>③各学年とも学年集会、面談を実施し生活指導を徹底する。</p> <p>④学校行事、委員会活動や部活動等での効果的な支援を行う。</p> <p>⑤学年会議やコース研修会を実施し、学力の把握や生徒指導、教員間の意思疎通を図る。</p>	<p>①学習に関しては年間を通して、各学年の状況に応じて計画し実施していく。但し3学年については統一テストを一つの目安とする。</p> <p>②進路指導部の計画に基づいて予定通りに実施する。</p> <p>③学年集会や面談は年間計画で実施する。また、必要に応じて実施していく。</p> <p>④新入生に積極的参加を呼びかける</p> <p>⑤学年会議は定例で実施し、コース研修会は年間計画及び必要に応じて実施する。</p>
特別進学コース	<p>①生活態度及び学習に向かう姿勢の基本の確立</p> <p>②学力の向上</p> <p>③進路指導の強化</p>	<p>①土浦日大生としての自信と誇りを持たせ、入学後の早い段階で基礎学力が定着するよう指導していく。</p> <p>②大学入試に確実に対応できるよう、英数で早期教育を実施するとともに、理科3科目対応型の指導を展開する。</p> <p>③言語教育や教養教育に加えて、医学医療教育にも力を入れていくことで人間教育を重視し、広い視野を持つ社会貢献できる人材の育成をめざしたい。</p>	<p>①②③計画された学習指導計画・学校行事計画に従って、着実な指導を展開したい。</p>

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
グローバル・スタディコース	①語学力を中心とした総合的学力の充実向上 ②他文化及び自国文化理解の努力 ・コミュニケーション力の向上 ③情報収集力及び発信力の向上	①21世紀のグローバル社会を主体的に生きぬ抜く為に、基本的生活習慣・基礎体力・基礎学力をしっかりと培う。 ②自国文化をしっかりと学習し受け継ぐとともに、他文化理解を深める。 ③情報収集のみならず、情報発信をしっかりと行う。海外の大学進学を含めてグローバルな人材育成に努める。	①②③3年間の継続的指導計画の吟味と点検を常に行い、改善・改良を進める。

中長期的目標及び方策			
評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
教育活動 教科指導 (教務)	①魅力ある学校への改革と生徒の学力向上 ②1ラックアップを目指す行動の推進	①平成23年度、学校改革の委員会との連携により、学力向上を目指した新学力模試がスタートした。結果の反省と分析を進め、その後の改革につながる環境を整えたい。 ②学校改革を目指した、生徒も教員も全ての土浦日大人がステップアップできる、一歩踏み出すことができるような意識改革の呼びかけを継続し、そのための学習指導計画, 学力模試対策指導計画の充実を進める。	①秋季学力模試実施に向けての作業と、その活用方法の研究を委員会と連携して実施し、春季学力模試改良につなげたい。 ②まず教員から意識向上を進める。
進路指導	①進路指導法に関する研修の充実	①具体的な事例に基づく進路指導法を再構築する。	①各行事の検証修正を継続させる。
図書	①図書や資料のリニューアル	①開架書架や書庫の図書や資料の、利用価値に即した廃棄や移動と、新たなニーズにあった図書や資料の購入を推進する。	①10年を目途に年度ごとに計画的に実施する。
管理運営	①運動施設の整備 ②保護者への緊急連絡手段の確立	①右荻桜グラウンドの管理施設等の建設を開始する。 ②登録した生徒・保護者への一斉配信による緊急連絡手段を整備する。	①平成25年1月の着工を目指す。 ②年度内の完成を目指す。